

Press Release

2018年11月1日

DMG MORI のヒューマンマシンインターフェイス『CELOS』に

McAfee Embedded Control を採用

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、当社のヒューマンマシンインターフェイスである「CELOS」のセキュリティ対策強化を図るため、マカフィー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山野 修)のホワイトリスト型セキュリティソリューション「McAfee Embedded Control」を2019年6月出荷分の日本国内生産機より標準採用いたします。

近年、IoT やコネクティッドインダストリーズなど、コンピュータネットワークを活用したソリューションへの注目が高まっています。工作機械でも、企業内のイントラネット接続や外部環境とのインターネット接続により、さまざまな情報の管理、機械の移動監視を行うことが可能となっています。一方で、このようにネットワークに接続することで、不正プログラムのインストール、プログラムの改ざん、情報漏えいといったリスクがより一層増しています。

当社では以前より情報セキュリティの強化に取り組んでまいりましたが、この度、工作機械としての可用性を損なわずにより堅牢なマルウェア対策を行なうため、ホワイトリスト型セキュリティソリューション「McAfee Embedded Control」を標準採用することを決定いたしました。

McAfee Embedded Control は、ホワイトリスト機能と整合性モニタリング技術により、システムの停止やデータ流出の原因となりうる、マルウェアなどの未承認の実行ファイルをブロックし、且つソフトウェアや設定に対する未承認の変更を阻止しシステムの完全性を確保します。

マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を超えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。

詳細は <http://www.mcafee.com/jp/> をご覧ください。

マカフィー株式会社広報担当

Tel : 03-5428-1226